

第1回

マネーの心理学・投資の心理学

令和4年10月8日(土)

講師：立正大学 経済学部 教授 ^{はやし} 林 ^{やすし} 康史 氏

最近、若い人達の間で投資ビジネスという言葉があるように、仕事感覚で投資への関心が高まっていることから、市民大学でも投資による日本経済の活性化をテーマに一連の講座を企画し、その第1回目は基礎編として、投資の心理学に関する講座を行いました。

投資し成功することが目的であるが、そのためのポイントは、①予測の技術を知る②心理を知る③運用ルールを知るの3つで、特に心理を知るとは他のスキルアップにもつながるそうです。

講座では、心理について、①人の判断は合理的か、②投資に関する心理的バイアスとはということクイズ形式で身近なものとして紹介されて、面白く、わかり易かったです。

世界の最前線の経済が、経済的な原則よりも個人や社会の心理動向に左右されるというのは意外でしたが納得できました。

時間があれば行動経済学に関して、詳しいお話が聞ければ良かったと思いました。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

・スペクトラールとランチェ(※)の話はおもしろかった。年を重ねるごとにランチェが強く出ている気がしたので…。(昔はスペクトラールがもっとあった気がします…)

この機会にスペクトラールを意識して、たくさん考えて柔らかい頭でいたいと思いました。聞いたことのない、おもしろい話でした。

・実際に投資をやっていて、心が重要だと感じていたので、もっと詳細を聞きたかったです。

(※) スペクトラール…積極的思考タイプの人 ランチェ…保守的思考タイプの人